

朝来市戦没者追悼のメッセージ

多くの尊い命が失われた先の大戦から 76 年もの歳月が過ぎ去りました。

戦禍の犠牲となられた朝来市 1,885 柱の英霊は、祖国の平和と発展を願い、また家族の安泰を念じ苛烈を極めた戦闘の中で傷つき斃れ、戦場に散り、戦後に至るまで異郷の地に残され、祖国に帰ることがかなわなかった皆さまのご心情とご無念に思いをはせますと万感胸に迫り痛恨の情を禁じえません。

令和の時代となり戦争を経験していない、知らない世代が日本人の多数を占めるようになった今日、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は戦禍の中で尊い命を捧げられた戦没者の皆さまの犠牲の上に築き上げられてきたものであることを決して忘れてはなりません。

また、最愛のご家族を失われ決して癒されることのない深い悲しみを胸に今日に至るまで長く苦しい日々を過ごして来られましたご遺族の皆さまのご労苦とご心情に深甚なる敬意を表すものであります。

この平和で豊かな今日においてこそ私たちは謙虚に過去を振り返り戦争の悲惨さと幾多の尊い犠牲を忘れることなく、今を生きる者の責務としてあの悲惨な戦争を繰り返さない誓いと平和を守ることの誓いを今の時代に引き続き語り継いでゆく事が犠牲者の方々に報いる途であると信ずるものであります。

令和 3 年度の朝来市戦没者追悼式につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、参列いただく皆様の健康と安全を最優先に考え、やむなく中止することといたしました。

ここに、謹んで御霊が安らかならんことをご祈念申し上げますとともに、1 日も早い感染拡大の収束と、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

令和 3 年 8 月

朝来市長 藤 岡 勇